



～思いやりの心と笑顔があふれ、

一人一人の心の中に「ふるさと入間野小」を育む学校～

狭山市立入間野小学校

学校だより

令和7年10月号

☎04-2958-2718



いるまの

＜学校教育目標＞

- ・仲よくする子
- ・考える子
- ・やりぬく子



秋の訪れを感じて

校長 宮原 ひろのり 礼典

まだまだ暑さが残り、体育の授業や休み時間に校庭へ出ることがかなわなかった日も多かった9月上旬でしたが、徐々に気温の上昇が落ち着き、朝晩は秋の訪れを感じる過ごしやすい季節となりました。これから今月25日（土）に行われる運動会に向けて、練習の日々が始まります。日中は気温の高く日差しが強い日もありますので、水分補給と適宜休憩をいれて指導にあたって参ります。普段の学校生活より疲れを感じる児童も多いと思われるので、ご家庭での食事や就寝等の体調管理や着替えや汗ふきタオル等の衛生面で保護者の方にご協力をいただくこととなります。よろしくお願ひいたします。

9月1日は防災の日でした。本校でも5日に避難訓練を行いました。天候があいにくの雨だったので、机下から廊下までの避難を実施しました。数クラスの様子しか見られませんでした。先生方からはとても真剣に行っていたと聞いて安心しました。子供たちに放送の機会があったので「普段の生活の中でも本番で良い結果を残すためには練習が必要です。避難訓練は災害時に自分の命を守るための大切な練習です。普段できていることも緊急時は気持ちが乱れて上手くできないことも多々あります。そうなった時でも練習していれば体が覚えているものです。今日の自分はどうかだったでしょう？」と伝えました。先日、入曽地域交流センターの小林所長様が本校にお越しになり、「11月16日（日）地域の防災訓練を入間野小の体育館で行いたい」と申し入れがありました。有事の際、市役所の職員の到着に時間がかかることも考えられます。その場合、地域の方が避難所を開設しなければなりません。お時間がありましたら、訓練への参加をご検討ください。



先月の17日（水）18日（木）に6年生が日光方面へ修学旅行に行きました。天候が危ぶまれましたが、江戸村の通り雨だけで行程を終えることができました。また途中で帰らなければならない児童も出ず、参加者全員修学旅行を満喫してきました。今年のめあては「日光の自然や歴史にふれ、知識をより深め、友達と協力して自分から行動できる修学旅行にしよう」でした。このめあてに則り、ルールやマナーを守って笑顔の絶えない修学旅行を送ることができました。自然の雄大さに触れた1日目と世界遺産と江戸の文化を垣間見た二日目。一人一人の胸に焼き付いたことでしょう。東照宮を案内いただいたガイドさんからは「しっかり話の聞けるお子さんですね」、ホテルの支配人さんからは「あいさつと返事が素晴らしいですね」、添乗員さんからは「素早い集合と話を聞く態度が立派ですね」とたくさんのお褒めの言葉をいただきました。どの見学場所でも「さすが入間野小の6年生」と誇りに思える態度でした。今後の学校生活でも下級生に良い影響を与えてくれることでしょう。これが伝統というものです。この素晴らしい伝統を入間野小全体で様々な場面で発揮してほしいと思います。



華厳の滝
水量多く迫力満点



足湯体験 お湯は熱め



中禅寺湖遊覧船にて